

# ★ボランティア体験プログラムとは？★

だれでも気軽に、楽しいボランティア活動を！

ボランティア活動をやってみたかったけどきっかけがなかった方、一步を踏み出すタイミングがなかった方、自分の時間を有効に活用したい方…

このボランティア体験プログラムでは、そんな皆さんが茨木市内で、気軽にボランティア活動が体験できる内容をたくさん集めました。

小学生から社会人、高齢の方までどなたでも参加でき、そして短時間だけでの体験ができるものもありますので、普段忙しくてなかなか時間がとれなかった方にもぴったりの活動が見つかるのでは……。

たくさんの人との出会いは、自分の世界を広げるチャンスです。  
心の世界を広げてみませんか。



## 【活動期間】平成30年7月1日(日)～通年あるいは夏季限定等いろいろ

プログラムによって活動期間が異なります。

「ボランティア体験プログラム一覧」(2ページから)にて確認してください。

## 【申込期間】6月20日(水)～随時

活動を希望される日の10日前には、必ず本市社協ボランティアセンターまで申込書をお送りください。ただし、各プログラムには受け入れ人数が決まっています。プログラムごとで定員になり次第募集は締め切りますので、お早めにお申し込みください。

## 【対象者】小学生から社会人、ご高齢の方まで

### ボランティアに関心、興味のある方ならどなたでも！

プログラムによって参加対象が異なりますので、「プログラム一覧」でご確認ください。なお、高校生以下の方は、「ボランティア体験プログラム参加申込書」の保護者の同意書欄への記入・捺印が必要です。

## 【経費等】

交通費や食費などは、原則としてボランティア自身の負担になります。プログラム実施中及び活動への移動中での事故を保障するボランティア保険は、事前はこちらで加入していますので、事故等が発生した場合は速やかにボランティアセンターまでご連絡ください。

## 参加申し込み方法

### ①プログラムを選ぶ



本冊子の2ページから11ページ「ボランティア体験プログラム一覧」の中から、参加したいプログラムを選びます。

### ②参加申込書に記入する



「参加申込書」に、必要事項を記入してください。  
※記入漏れのないようご注意ください。  
※高校生以下の方は【同意書】欄に保護者から署名と捺印を必ずもらってください。

### ③申し込む



参加申込書と返信用封筒(82円切手を貼り、返信先を記入したもの)を、活動希望日の10日前までに本市社協ボランティアセンターまで持参、郵送、またはメールしてください。

### ④決定通知書が届く



後日「参加決定通知書」が届いたら、必ず事前に参加する施設に電話連絡をし、持ち物や集合時間などの確認をしてください。


### ⑤ボランティア活動を体験!!

活動するまでに、14ページの「楽しいボランティア活動にするために」をよく読んで、当日に備えましょう。



# 楽しいボランティア活動にするために

## 心がけたい7つのポイント



### ①活動までに必要な事項を確認しよう

活動日までに、受け入れ先（活動場所）までの交通機関や持ち物、服装などを必ず確認しましょう。活動に関する不明なことや不安なことがあれば、気軽にボランティアセンターまで相談してください。

### ②無断欠席・遅刻は絶対しない

受け入れ先となる施設や団体は、ボランティアを受け入れるためにいろいろと準備をしてくれています。無断欠席や遅刻などは絶対にないようにお願いします。やむをえず欠席または遅刻をしような場合は、必ず受け入れ先に連絡してください。

### ③活動しやすい服装で

活動は、人と触れ合ったり動き回ることが多いので、爪は短く切り、服装も動きやすい物にしてください。また、貴重品等はできるだけ持参しない、あるいは自己責任で管理をしてください。

### ④プライバシーを守ろう

ボランティア体験で関わった方々のことなど個人的な情報は、絶対に外に漏らしてはいけません。活動中も相手を尊重し、話の内容にも十分に配慮しましょう。

### ⑤受け入れ先のスタッフの指示を守ろう

ボランティア体験として活動できる内容は、各施設や団体によってそれぞれの取り組みや方針があり、利用者への援助の内容や目的も個々に違いますので、受入先のスタッフの指示は必ず守ってください。ただ、やりたいことや思うこと等があれば、事前にスタッフに相談してもらうのは大丈夫です。

### ⑥利用者との“関係づくり”を大切にしよう

ボランティア活動にとって利用者との“関係づくり”は、とても大切です。笑顔で挨拶を行い、自分の方から積極的に話しかけてみましょう。そして、相手の意思や考えを尊重し、相手を理解するように心がけましょう。

このボランティア体験での施設の利用者やスタッフ、他のボランティアとの交流は、きっとあなたにとってプラスになると思います。

### ⑦自分の“気づき”を大切にしよう

ボランティア活動では、心に余裕を持ち、感受性豊かに、自分で“気づき”“感じる”ことが大切です。ぜひ、様々なことを感じてください。そして自分の体験や感じたことを家族や友人に話したり、記録にまとめて振り返ってください。自分の体験を言葉や文字にすることで、自身の新たな“気づき”にも繋がります。



ボランティアセンター QRコード



## ☑ 申し込む前に、最終チェック!! (必ずご確認ください)

- 参加申込書に記入漏れはありませんか？
- 高校生以下の方は、保護者の方に同意書欄に記入・捺印してもらいましたか？
- 返信用封筒は用意しましたか？
- 返信用封筒に 82 円切手を貼り、返信先（自宅等）も記入していますか？

### ボランティアセンターってどんなところ？

ボランティアに援助を求める方とボランティアを始めたい方をつなぐ役割として、ボランティア活動に関する情報の提供や、ボランティアの交流、施設・団体との連携、講座の開催等を行っています。ボランティアに関するご相談等があれば、いつでもお越しください。



# 茨木市社会福祉協議会 ボランティアセンター

**TEL:072-627-0086**

**FAX:072-627-0107**

※受付時間 8:45 ~ 17:15 (土・日・祝日はお休み)

〒567-0888 茨木市駅前四丁目 7-55 福祉文化会館 4 階

HP: [www.ibaraki-csw.com/vc](http://www.ibaraki-csw.com/vc)

Eメール: [ivc@ibaraki-csw.com](mailto:ivc@ibaraki-csw.com)

担当: 藤井 堀 上田



# ボランティア体験プログラム 参加申込書

フリガナ			フリガナ		
氏名	(男・女)		住所	〒 ー	
電話番号	自宅： ー ー				
	携帯： ー ー				
Eメール アドレス	※丁寧に大きな字で。わかりにくい文字（数字のゼロとアルファベットのオー）などは、上にフリガナもお願いします。 @				
勤務先 学校名			参加経験	体験プログラムの参加は 初めて ・ 2回目以上	
区分 <small>該当するものに○をつけてください</small>	学生の方	小学生（ 年）・中学生 高校生 ・ 専門学生 大学生（短大生も含む）	課題での参加 （ボランティア体験学習や職場研修等） はい ・ いいえ		
	学生以外の方	20歳未満 ・ 40～49歳 ・	20～29歳 ・ 50～59歳 ・	30～39歳 60歳以上	
この体験 プログラムを 何でお知り になりましたか	社会福祉協議会 ・ 口コミ ・ 学校 ・ 広報紙(名称： ) ホームページ(府社協 ・ 市町村社協 ・ その他 ) その他( ) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">該当するものに○をつけてください</span>				
参加動機					
希望	プログラム番号	施設・団体名		活動希望日	
第1希望				月 日 ( )	
第2希望				月 日 ( )	
第3希望				月 日 ( )	
第4希望				月 日 ( )	
同意書 <small>※高校生以下は必須です</small>	(お子さんのお名前) ボランティア体験プログラムに _____ が参加することを同意します。 保護者名： _____ (印)				

## 申込上の注意

- ◆この参加申込書をコピーあるいは切り取ってご記入ください。
- ◆**活動希望日の10日前までには必ずお申込ください。**(※郵送の場合は必着をお願いします。)
- ◆複数のプログラムを同時に申し込むことができます。
- ◆申込の際は、**この申込書と82円切手を貼った返信用封筒(返信先記入のもの)**を提出してください。
- ◆ivc@ibaraki-csw.com に ☎ 添付も可能です。